学位論文評価基準　人文科学研究科

専攻等	学位論文評価基準
社会行動学専攻	【博士前期課程】 ①大学院に２年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。 ②修士論文および同審査においては、当該分野及び隣接諸分野における広い視野に立った精深な学識と、その専攻・分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有することが証明されなければなりません。 【博士後期課程】 １研究テーマが明確である。 ２先行研究が十分に検討され、テーマ設定に至るプロセスが示されている。 ３論文で用いる方法論が具体的に提示されている。 ４研究の素材となる文献、史資料、調査結果などが十分に吟味されている。 ５結論に至る議論の展開が十分な論拠に支えられ、論理的である。 ６当該分野の学術研究の進展に貢献する、独創性を備えた研究である。 ７研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して､適切な倫理的配慮がなされていること。（データ改竄、捏造、剽窃などの研究不正を行っていないこと。）
人間科学専攻	【博士前期課程】 ①大学院に２年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。 ②修士論文および同審査においては、当該分野及び隣接諸分野における広い視野に立った精深な学識と、その専攻・分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有することが証明されなければなりません。

学位論文評価基準　人文科学研究科

	【博士後期課程】 1 研究テーマの設定が適切になされている。 2 研究テーマの追求にふさわしい方法論が設定されている。 3 先行研究が十分にふまえられている。 4 論証・実証が十分にされている。 5 当該分野の学術研究の発展に貢献する、独創性を備えた研究である。 6 研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。（データ改竄、捏造、剽窃などの研究不正を行っていないこと。）
文化基礎論専攻	【博士前期課程】 ①大学院に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。 ②修士論文および同審査においては、当該分野及び隣接諸分野における広い視野に立った精深な学識と、その専攻・分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有することが証明されなければなりません。 【博士後期課程】 1 研究テーマが明確である。 2 先行研究が十分に検討され、テーマ設定に至るプロセスが示されている。 3 論文で用いる方法論が具体的に提示されている。 4 研究の素材となる文献、史資料、調査結果などが十分に吟味されている。 5 結論に至る議論の展開が十分な論拠に支えられ、論理的である。 6 当該分野の学術研究の進展に貢献する、独創性を備えた研究である。 7 研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされているこ

学位論文評価基準　人文科学研究科

	と。（データ改竄、捏造、剽窃などの研究不正を行っていないこと。）
文化関係論専攻	【博士前期課程】 ① 大学院に２年以上在学し、３０単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。 ② 修士論文および同審査においては、当該分野及び隣接諸分野における広い視野に立った精深な学識と、その専攻・分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有することが証明されなければなりません。 【博士後期課程】 1　研究テーマおよび範囲の設定が適切になされている。 2　関連する先行研究が精査され、その知見が踏まえられている。 3　当該テーマの追求にふさわしい方法論が具体的かつ明確に示されている。 4　議論の展開が十分な論拠に支えられ、論理的である。 5　当該分野の学術研究の発展に貢献する、独創性を備えた研究である。 6　研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。（データ改竄、捏造、剽窃などの研究不正を行っていないこと。）